

各 都道府県  
指定都市 障害保健福祉関係主管課長 殿  
中核市

全国障害者総合福祉センター  
(戸山サンライズ)  
館長 君島淳二  
(公印省略)

### 研修会の実施について

当センターの運営につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、このたび下記研修会の実施要領を定めましたのでお知らせいたします。

大変お手数を煩わし恐縮に存じますが、貴職管内市町村、関連する障害者福祉施設、障害者福祉関係団体、その他障害者福祉に携わる関係機関に対しまして、ご周知賜りますようお願い申し上げます。なお、下記研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、オンライン研修といたします。多くの方の参加をお待ちしています。

なお、今回お送りする書類一式は、今年度回報にてご連絡いただきましたメールアドレスへPDFファイルにて送信いたします。ご担当者・メールアドレス等に変更があります場合は、kensyu@abox3.so-net.ne.jpまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### 記

○障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会  
【オンライン研修】  
令和4年1月22日(土)～1月23日(日)

※「実施要項」「日程表(カリキュラム)」は当センターのホームページにも掲載しております。  
<http://www.normanet.ne.jp/~ww100006/index.htm>

担当：事業部 委託事業課 養成研修係  
TEL 03-3204-3611  
FAX 03-3232-3621

令和3年度  
障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会  
～新しい生活様式におけるレクリエーションのあり方～  
【オンライン研修】

実 施 要 項

1. 目的 新型コロナウイルスにより、三密を避けてのレクリエーションは、今までと同じ方法では厳しくなりました。集団レクを困難にする中で、それに代わるレクリエーションによる支援の可能性を追求し、「みんなで楽しく」から「みんなが楽しく」なるレクリエーション支援の理論と手法について学ぶことを目的とします。なお、令和3年度の本研修会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、全てZoomによるオンライン研修といたします。

☆本研修会の特色☆

障害者のレクリエーション活動の価値を理解し、基礎的な援助方法、実技種目を学び、施設等におけるプログラムディレクターとして、レクリエーションプログラムを企画、運営できる人材を養成します。

2. 主催 全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）  
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1  
TEL 03(3204)3611(代) FAX 03(3232)3621  
(厚生労働省委託事業)
3. 後援 公益財団法人 日本レクリエーション協会  
一般社団法人 東京都レクリエーション協会
4. 期間 令和4年1月22日(土)～1月23日(日)  
※カリキュラム、時間等詳細は別紙1のとおり
5. 対象者 障害者施設等において障害者のレクリエーション支援に携わる者
6. 定員 100名(申込状況により、定員を調整する場合がございます。)  
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
7. 事前準備
- ・パソコン(マイク、カメラ付きが必須)  
※タブレットでは機能が不十分なので、パソコンの使用を推奨します。  
受講者1名につき1端末(パソコン)での参加となります。1施設・事業所から複数名お申込みの場合は個々のメールアドレスをご用意ください。(1アドレス複数人受講は不可)
  - ・Zoomが使用できるインターネット接続環境  
(フリーWi-Fiは繋がらない可能性が高いため、使用しないようお願いします)
  - ・Zoom(Web会議ツール)アプリのインストール。  
※Zoomの操作につきましては、戸山サンライズのHPで研修会のページに「Zoomの操作方法」を掲載しています。

8. 修了証明 全課程修了者(研修会修了後アンケート回答者)には修了証書を授与(郵送)します。

9. 申込方法 戸山サンライズHP内の研修会のページからオンラインでお申込みください。  
※下記のQRコードからお申込み可能です。



10. 申込締切 令和3年12月27日(月) ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

11. 受講決定

- ・ 1月5日(水)頃から受講決定通知をメールにて送信します。
- ・ お振込確認後、研修会テキストを郵送にて送付します。
- ・ 研修会当日のZoomURLアドレスはメールにて送信します。

※受講申込者宛てに受講決定・受講不可を問わず通知いたします。

12. 必要経費 研修費 10,000円

13. お振込先 受講が決定(メールで通知)しましたら、振込先を通知いたします。

14. キャンセル

- ・ 1月19日(水)までのキャンセルは返金(振込手数料を引いた額)いたします。
- ・ 1月20日(木)以降のキャンセル及び無断キャンセルは返金致しかねますので、ご了承ください。

15. 注意事項

- ・ 諸事情により、当日不参加となった場合でも後日ビデオ配信、音声配信等の対応は致しかねますので、ご了承ください。
- ・ 講義中は常時ビデオをONでの受講をお願いします。  
(休憩時はOFFにさせていただいて結構です)
- ・ 講義のレコーディング(録画・録音)はご遠慮下さい。

令和3年度 障害者のためのレクリエーション支援者養成研修会  
 ～新しい生活様式におけるレクリエーションのあり方～

日程表  
 【オンライン研修】

1日目 1月22日(土)

9:15~9:45	※9:00頃からZoomのアクセスは可能です。	
9:45~10:00	開講式・オリエンテーション	
10:00~12:00	テーマ① レクリエーションプログラム作りの基礎 ～個別支援を基礎としてのA-PIEプロセスの理解～ 【ポイント】 「レクリエーション」の定義を踏まえ、プログラム作成の基礎的なメソッドの一つであるA-PIEプロセスを用いて対象者にどのように提供し支援するかを紹介する	日本体育大学 野村 一路 氏
12:00~13:00	昼休憩 (60分)	
13:00~15:00	テーマ② 狭い空間でも楽しめるオンラインによるレクリエーション 【ポイント】 ・道具を使わない(身一つで楽しめる)レクリエーション ・「色」という要素を意識したレクリエーション ・オンラインでもみんなをつなぐレクリエーション	法政大学 越部 清美 氏
15:00~15:10	2日目のガイダンス後、Zoom退出	

2日目 1月23日(日)

10:00~10:30	※10:00頃からZoomのアクセスは可能です。	
10:30~12:00	テーマ③ コロナ後の「新しい生活様式」における レクリエーションの役割 【ポイント】 ・コロナが変えた日常一遊びとレクリエーションの変容 ・「絆なき社会」のつながりをどう作るのか ・障害者レクリエーションの再開発を目指して	日本福祉文化学会 園田 碩哉 氏
12:00~13:00	昼休憩 (60分)	
13:00~15:00	テーマ④ 多様性と共生のためのコミュニケーションワーク 【ポイント】 オンライン及び対面での交流を通して、相互理解を深めることで多様性を受け入れ、共生につなげるためのグループワークを紹介する	東京女子医科大学 諏訪 茂樹 氏
15:00~15:10	休憩 (10分)	
15:10~16:40	グループ論議 ～新しい生活様式におけるレクリエーション～ 問題提起のテーマを決めてオープンダイアログ形式で論議する	日本福祉文化学会 園田 碩哉 氏 東京女子医科大学 諏訪 茂樹 氏
16:40~16:50	閉講式・修了後アンケートのお願い・Zoom退出	

※上記の予定カリキュラムは都合により変更する場合があります。  
 ※講義中に適宜休憩時間を入れます。

# 令和3年度 全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）研修会概要【12月3日更新】

※下記の日程は都合により変更することがあります。最新の情報は当センターＨＰにてご確認ください。

研修会名	目的	受講対象等	研修期間	日数	定員	備考
障害者のためのレクリエーション 支援者養成研修会 【オンライン研修】	障害者の個々のニーズに対応したレクリエーション 支援の理論と手法について研修し、障害者が潤いあ る豊かな生活を送れるように支援することのできる 人材を養成することにより、障害者の自立と社会参 加の推進に寄与することを目的とする。	障害者施設等において障害者のレクリ エーション支援に携わる者。	1月22日（土） ～1月23日（日）	2日	100名	
障害者福祉センター等職員研修会 【オンライン研修】	身体障害者福祉センター等の施設長及び幹部職員に 対し、国の障害者福祉行政等新しい情報を提供する とともに地域の障害者生活支援および施設経営等の 知識について研修し、施設運営の充実、強化を図る ことを目的とする。	身体障害者福祉センター（A型、B 型）及び従来障害者サービス事業 を実施していた障害者総合支援法に基 づく生活介護事業所、地域活動支援セ ンター等の施設長等幹部職員及び中間 管理職員。	2月18日（金）	1日	50名	
障害のある人を支援する防災 研修会【オンライン研修】	大規模な災害により障害者の生活が著しく制限され る状況に置かれたとき、当事者はどのような支援を 求めるのか、支援者はどのように行動すべきかを学 び、今後起こり得る災害に備えることが重要であ る。本人が自立した地球生活を営む上で災害時にお いても支援を滞ることなく続けることを目的とす る。	市町村（障害福祉担当、防災担当）、 障害者福祉センター、障害者団体、障 害福祉サービス事業所の職員、その他 障害者福祉に関わる者。	3月5日（土）	1日	100名	
心のバリアフリー研修会 【オンライン研修】	地域において一般市民で中核的な役割を担っている 方が共生社会づくりについて理解を深める機会とす る。	市町村が推薦する民生委員協議会、運 合自治会長等のリーダー層等で地域に おける中核的な役割を担うメンバー。	3月19日（土）	1日	100名	

研修会名	目的	受講対象等	研修期間	日数	定員	備考
障害者施設職員研修会 (新任職員コース) 【オンライン研修】	障害者施設等の新任職員に対し、施設の一員として活躍できるような必要な知識等について研修し、施設運営等の円滑化を図ることを目的とする。	障害者施設等に現に就任している新任職員(異動による新任を含む)。	8月7日(土) ～8月8日(日)	2日	90名	
意思決定支援と虐待防止に関する研修会 【オンライン研修】	各都道府県において、「権利擁護・障害者虐待防止研修」が実施されているが、虐待の発生は後を絶たない。また、「意思決定支援ガイドライン」が平成29年3月に示されたが、それを職場内で共有し、常に意識しながら支援している事業所は少なく、ガイドラインが浸透しているとは言いがたい。本研修では、意思決定支援と虐待防止について基礎から学び、障害のある人たちが地域において安心して暮らせる共生社会の実現に寄与することを目的とする。	市町村(障害福祉担当者)、障害者福祉センター、障害者団体、各障害福祉サービス事業所の職員、その他障害福祉に関わる者。	10月23日(土) ～10月24日(日)	2日	100名	
『個別支援計画』作成および運用に関する研修会【オンライン研修】	個別支援計画に対する考え方、手法などを検討し、より利用者に寄り添った個別支援計画が作成され、利用者の個性に合わせた計画が作成されることにより、豊かな日常生活を送ることができるようになることを目的とする。	各事業所の個別支援計画作成担当者及びサービス管理責任者、また、現在個別支援計画の作成および運用に関わっている者。	※研修期間 参照 課程1:期間限定配信講義 10月18日(月)～11月7日(日) 課程2:オンライン型演習I 11月6日(土) 課程3:オンライン型演習II 11月7日(日)	※研修期間 参照	30名	
「コロナ禍における重度障害者の運動等を通じた健康づくり」研修会 【オンライン研修】	新型コロナウイルスの影響により、様々な活動の自粛や3密回避が求められるため、従来から活動に制限があった重度障害のある人たちは一層の制限を余儀なくされ、健康面にも様々な影響を及ぼしていることが想定される。コロナ禍の約2年の間にオンラインの活用やソーシャルディスタンスを確保しながらの活動が様々な工夫をしながら行われている。本研修会では、「重度障害のある人たちの運動等を通じた健康づくり」をテーマにコロナ禍における健康づくりの推進に寄与することを目的とする。	特別支援学校・特別支援学級の教職員および障害福祉サービス事業所の職員等(卒業士含む)。	12月11日(土)	1日	100名	
「利用者一人ひとりの力を高める支援」 (新顔)研修会【オンライン研修】	「障害者自立支援法」以前は、身体障害、知的障害、精神障害等の障害のある方々の社会生活力を高めるための研修会が、更生施設や授産施設等の職員を対象に毎年実施されていた。「障害者総合支援法」により施設体系や事業体系が大きく変わったが、利用者が充実し、楽しく、自立した人生を営めるようになるための支援が重要であることには変わりはない。様々な障害のある方々や、「生きづらさ」を抱える方々を対象とする「障害のある人のための社会生活プログラム・マニュアル:自分らしく生きるために」を活用し、実践能力向上のための研修会を開催する。	自立訓練事業(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援事業、就労継続A型・B型事業、生活介護事業、地域活動支援センター、相談支援事業等の障害福祉サービス事業所等の従事職員。 (上記事業所の従事年数が合計で3年以上)	12月18日(土) ～12月19日(日)	2日	60名	※日本リハビリテーション 学連 リハビリテーション 研究会 共催研修会